

第6学年 音楽科学習指導案

日 時 令和元年

場 所

児 童

指導者

1 題材名「和音の音を感じ取り、和音に合う旋律をつくろう」

教材名 I、IV、V7の和音構成音 等

2 題材の目標

- (1) 和音に含まれる音や与えられたリズム、反復や変化、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。【思・判・表】
- (2) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解し、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくる。【知・技】
- (3) 和音の響きや移り変わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組む。【態】

3 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の「A表現(3)音楽づくりアの(イ)、イの(イ)、ウの(ア)、共通事項」について指導を行っていくものである。また、本題材で取り上げる音楽を形づくっている要素等は、「リズム、旋律、音の重なり、和音の響き、反復、変化、音楽の縦と横の関係」である。

本題材では、和音の響きの美しさを味わいながら、和音に含まれる音を使った旋律をつくり、それをさらに音楽の仕組みを用いて自分なりにまとまりのある旋律に仕上げる題材である。

旋律づくりの手順をスモールステップで進めることにより、どの児童も主体的に取り組むことができると思われる。また、児童が試行錯誤しながら旋律を仕上げる本題材は、自分だけのオリジナルの旋律をつくる楽しさも加わる。和音の響きの移り変わりに関心を持ちながら学習することによって、中学校から始まる旋律創作の学習への橋渡しともなる題材ともなっている。

(2) 児童について

本学級の児童は、1学期に行った音楽づくり「リズムをつくってアンサンブル」で、自分で楽器を選び、リズムを考え、友達とリズムアンサンブルを作る学習を通して、「こんなアンサンブルにしたい」や「音楽の仕組みを使ってみたら、こんなアンサンブルになった」等、思いや意図をもち、それらを表現する力が付いてきた。

しかし、これまで学習してきた音楽や普段聴いている音楽が、なぜ心地よいのかを理解している児

童は少ない。

そこで本教材を使い、試行錯誤しながら音楽づくりをする学習を通して、様々な和音の響きを感じながらその移り変わりの美しさ、心地よさを味わわせたい。

(3) 指導にあたって

今回の「和音の音で旋律づくり」では、和音に含まれる音をつないで、まとまりのある旋律をつくる。まず、教科書に示されているハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で演奏して、響きの移り変わりを確かめさせる。その際、自分のつくる旋律のテーマを考え、そのテーマにあった旋律を考えさせることによって、音楽づくりへの思いや意図をもたせたい。その後、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくる。

次に、教科書の例を参考にして、示されたリズムで旋律をつくる。つくった旋律のリズムを工夫して、気に入った旋律に仕上げさせる。その際、児童の思いや意図がより明確になるようなワークシートを工夫する。仕上げた旋律を I → IV → I → V 7 → I の和音伴奏と合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりの美しさを味わわせたい。

最後に、児童のつくった旋律を互いに聴き合う学習を通して、和音の生み出す美しさを感じ取れるようにしたい。そして、思いや意図をもって表現したり、感じ取ったことを生かしながら表現したりする学習の楽しさを味わわせたい。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
① 和音の響きや移り変わりに興味・関心をもち、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かしてまとまりのある旋律に仕上げる学習に主体的に取り組もうとしている。	① 和音やその移り変わりを聴き取り、その働きが生み出す響きのよさを感じ取りながら、和音に含まれる音や与えられたリズムを使って旋律をつくり、反復や変化、音楽の縦と横の関係を生かして、まとまりのある旋律に仕上げることについて見通しをもっている。	① 和音に含まれる音や与えられたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。

5 指導計画と評価規準 全3時間

時	ねらい ◎ 主な学習活動 ・	指導事項	共通事項	評価規準
1	◎和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。 ・ハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で演奏して、響きの移り変わりを確かめる。 ・自分のつくる音楽のテーマを考え、和音に含まれる音を使って、示されたリズムで旋律をつくる。	A表現(3) 音楽づくり イ(イ)	旋律 音の重なり 和音の響き フレーズ 反復 変化 音楽の縦と横の関係	【関①】 【技①】 (演奏聴取、行動観察、発言内容)
2 本時	・つくった旋律のリズムを工夫して、気に入った旋律を試行錯誤する。	A表現(3) 音楽づくり ア(イ)	リズム 旋律 和音の響き フレーズ	【創①】 (演奏聴取、発言内容、ワークシート)
3	・つくった旋律を和音伴奏と合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりの美しさを味わう。	A表現(3) 音楽づくり ウ(ア)	リズム 旋律 音の重なり 和音の響き フレーズ	【技①】 (演奏聴取、発言内容、ワークシート)

6 本時の指導

(1) 目標

和音に含まれる音や与えられたリズム、反復や変化、音楽の縦と横の関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。【音楽表現の創意工夫】

(2) 研究との関わり

①「音楽を形づくっている要素を知覚・感受させるための手立ての工夫」

①-1 児童がつくった和音の音を含む旋律を聴かせることによって、音楽を特徴付けている要素の1つである和音の響きを味わわせたい。

②「試行錯誤させる音楽活動の展開」

②-1 自分の思いや意図が表現できる旋律を探したり、試行錯誤してつくった旋律に発見があったりする活動の時間を十分にとることによって、思いや意図に合ったリズムになっているかを考えさせ、様々な表現の仕方があることに気づかせる。

3 6 分	5 つくった旋律を演奏し、感想を交流し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・数名に発表してもらい、さらによりよいものにするための手がかりとする。 ・発表する際、どのような旋律をつくったのかを伝えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◎思いや意図の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1小節目と3小節目のリズムを反復させていて落ち着いた感じを表した。 ・音の高さを高くし、リズムも細かくてうきうきした感じがした。 </div>	
終 末 7 分	6 本時を振り返る。 ・振り返りをし、感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入った旋律ができた児童を紹介し、気に入った理由を発表させる。 ・本時の感想を発表させる。 	
	7 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、全員が発表し合うことを知らせる。 	

7 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">気に入った旋律になるようにリズムを工夫しよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">リズムのみの図</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【2分音符と同じ長さのリズムの図】</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【使えそうなもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復 ・変化 ・音楽の縦と横の関係 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">発表用の紙板書</div>
---	--